



消防だより 119

6月の広報テーマ

「幼児に対する防災対策」

幼児の目線で、 住まいの防火点検。

家 の中にはマッチ・ライターや調理器具など、簡単に火がつくものが色々あります。幼児が親のマネをして触ってしまうととても危険です。

一度、家の中を幼児の目線で点検しておしてください。マッチ・ライターなどは幼児の手の届かない高い所に片付け、調理器具などは元栓をしっかり締めおくなどの安全確認をお願いします。



虻田消防団春季消防演習

4月20日、虻田消防団・消防署合同で春季消防演習が、「虻田町役場庁舎」で実施されました。



本番さながらの春季消防演習

午後1時30分の演習開始サイレンで消防車両9台が出勤し、消防職・団員105名がヘルメットと防火衣を身にまとい、消火活動を行うと同時に、救助隊により逃げ遅れた人の救出を行いました。
式典では長崎町長・町議会議

員のほか来賓の方々から消防に対する激励と期待が述べられて終了しました。

住宅用火災警報器で 早期発見を

「浮き輪」で多くの人が亡くなっています。

住 宅用火災警報器は煙や熱を自動的に感知し、いち早く警報で知らせます。

いざというとき逃げ遅れないため、寝室などに取り付けることで火災の被害を最小限に抑えることができます。



住宅用火災警報器が知らせてくれます。

統一標語は「火は消した？
いつも心に きいてみて」



わたしのうた

短歌 「あぶた短歌会」 四月定例会より

白樺と雪の白さが削ぎあへる

峠にしばし炎ゆる落日

噴火より五年過ぎしがいまだにも

命ありて友の唱えるご詠歌に

悲しさと喜びもあり彼岸会

衣更への季となりしもこの年の

食卓に春の香りをそへたれば

春彼岸過ぎて歩道の雪も消え

道行く人らのびのび歩く

たたなはる山脈雪をかづげども

有珠岳の斜りに残雪みえがくれ

冷たき風に春まだ遠し

砂浜に座している我をかげらせて

海の上にと流れゆく雲

叫びたき声かも知れずころよき

雨は屋根をば激しくたたく

俳句 【あぶた俳句会】 五月定例会より

風どんと呑んで百態鯉のぼり

ゆく春や捨てる絵皿の塵払ふ

隣から嬰兒這ひ寄る花筵

伊達の藍着て春宵の平家琵琶

サフランや隠れ煙草の患者どち

花冷や気丈な女のひとり言

若葉風一年生もらしくなり

新しきトンネルぬけて若葉風

春灯やどの卓も噴くごっこ鍋

大西 芳子

山本 孝

石黒まさ子

赤塚 瑛子

北島 加代

伊藤 静子

室野 晃風

太田 智

中野 イマ

大久保とみ乃

那須 伶子

菅原 敏子

瀬川 稔

井村 育子

岩木 秋水

塩川サチ子

三瓶 修

小笠原 勇

矢野 知子